Form 1J

令和６年度採択　e-ASIA共同研究プログラム（e-ASIA JRP）　  
日本側研究者向け申請書補足様式

**１．正式課題名（日本語、e-Radでの入力と同じ内容）**

|  |
| --- |
|  |

**２．ヒト全ゲノムシークエンス解析**

*※ いずれかを選択ください。 実施する場合、ヒト全ゲノムシークエンス解析プロトコール様式を提出。*

|  |
| --- |
| □　実施する　　　　　　　 □ 実施しない |

**３-１．日本側研究代表者***※ 所属・役職は正式名称であることを確認ください。*

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 氏名 | 日 | *※外国籍の場合はカナ表記* |
| 英 |  |
| 所属機関・部署・役職 | 日 |  |
| 英 |  |
| 所属先住所 | | 〒 |
| Tel | |  |
| E-mail | |  |
| 本事業以外の競争的資金制度等の応募資格制限の有無 | | 有／無*（該当しない方を消してください）* |
| 所属機関経理事務担当者 | 部署名 |  |
| 氏名 |  |
| Tel |  |
| E-mail |  |

**３-２．相手側研究代表者（２カ国目）***※ 日本語表記は日本側研究者が作成し必要に応じ相手側研究者へ確認してください。*

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | カナ | （名） | | （姓） | |
| 所属機関・部署・役職 | （国名） | （所属） | （部署） | | （役職） |

**３-３．相手側研究代表者（３カ国目）***※ 日本語表記は日本側研究者が作成し必要に応じ相手側研究者へ確認してください。*

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | カナ | （名） | | （姓） | |
| 所属機関・部署・役職 | （国名） | （所属） | （部署） | | （役職） |

**４．課題説明文**　*※ 日本語は****１文****、英語は****２文以内****で研究の対象と意義をまとめる。*

|  |  |
| --- | --- |
| 日本語 | 本研究は、・・について・・することで・・を目指すものです。 |
| 英　語 | This collaborative research aims to… |

**５．課題概要**

*※ 日本語は****３５０字以内****、英語は****１０００字または１５０単語以内****でまとめる。非専門家でも読解可能な表現とし、図表を用いても構わない。*

|  |  |
| --- | --- |
| 日本語 | 本研究は、・・を目的とする。具体的には、日本側チームは・・を行い、○○国側チームは・・を、○○国側チームは・・を行う。○カ国のチームによる共同研究を通して・・が期待される。 |
| 英　語 | This collaborative research aims to…. Specifically, the Japanese research team　will…. XXX team will…. XXX team will…. Through collaborative and complementary research among X countries, this research is expected… |

＜以下は日本語のみ＞

**６-１．共同研究の背景・目的***※ ５００文字以内で、提案の社会的背景と学術的背景、研究成果から将来もたらされうる社会課題や人間生活へのインパクト等、将来展望も含める。*

|  |
| --- |
|  |

**６-２．共同研究の達成目標について  
※***６-１の目的に照らして本研究で達成を目指す目標について、実際の研究計画及び方法を示す。既存研究・技術などベンチマークとなる****定量指標と比較しつつ説明すること。***

|  |
| --- |
|  |

**６-３．共同研究とする意義**

*※ 日本側と相手国側の強みを具体的に示すとともにそれらの相乗効果を説明する。*

|  |
| --- |
|  |

**７．研究概要図**

* *共同研究の概要を1枚の図にまとめてください。*
* *研究の目的、期待される成果（定量的数値目標があれば含む）、日本と研究参加国の役割分担等を簡潔に図示してください。*
* *ファイルサイズが大きくなりすぎないよう注意してください。*

**８．研究開発の主なスケジュール**

* *共同研究における目標達成に向けて取り組むべき研究開発項目を挙げ、実施期間を記載してください。*

*※マイルストーン：達成しようとする研究開発の節目となる到達点・達成事項*

* *項目別のスケジュールや担当者が分かるように記載してください。*

*※1頁以内で記載してください*

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **研究開発の主なスケジュール（ロードマップ）** | | | | | | | | | | | | | |
| 研究開発項目  ※マイルストーン | 担当者  氏名 | 2024  年度 | 2025  年度 | | | | 2026  年度 | | | | 2027  年度 | | |
| 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q |
| （1) 〇〇関連遺伝子発現解析  ・アッセイ系の確立  ・発現データ解析 |  |  | ▲  マイルストーン：○○○○○○○○ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （2) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （3） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （4） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （5） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （6） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （7） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

**９．日本側各年度別経費内訳**

* *大項目の各合計がForm-8E Budget Plan Japan-sideと同じ金額になるように記載してください。*
* *e-Radには会計年度毎（2024年度（2025年1月～2025年3月）、2025年度（2025年4月～2026年3月）、2026年度（2026年4月～2027年3月）、2027年度（2027年4月～2027年12月）の予算計画を記載してください。*

（単位：千円）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 大項目 | | 1st Year | | | | 2nd Year | | | | 3rd Year | | | | 計 |
| 2024  年度 | 2025  年度 | | | | 2026  年度 | | | | 2027  年度 | | |
| 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q |
| 直接経費 | 1.物品費 |  |  | | | |  | | | |  | | |  |
| 2.旅費 |  |  | | | |  | | | |  | | |  |
| 3.人件費・謝金 |  |  | | | |  | | | |  | | |  |
| 4.その他 |  |  | | | |  | | | |  | | |  |
| 小　計 |  |  | | | |  | | | |  | | |  |
| 間接経費（上記経費の30%目安） | |  |  | | | |  | | | |  | | |  |
| 合　　計 | |  |  | | | |  | | | |  | | |  |

**１０．特記事項**

* *この項目は今後のAMED事業運営に資する研究動向の分析等に利用させていただくとともに、研究開発課題が特定されないかたちで（例：事業やプログラムごとの単位等で）分析結果を公開させていただく場合があります。*

1. 倫理的・法的・社会的課題（ELSI：Ethical, Legal and Social Issues）への対応について

以下のa)～c)のいずれかの□にチェックを入れるとともに、a)又はb)については、その内容を簡潔に記載してください（bは検討中の内容で差し支えありません。）。

a)□　倫理的・法的・社会的側面からのリスクを把握している。

b)□　倫理的・法的・社会的側面からのリスクを整理中である。

c)□　倫理的・法的・社会的側面からのリスクを把握・整理していない。

1. *（記載例）*

*・本研究開発課題における○○については、……といった点が倫理的課題として指摘されている。この課題を解決すべく、○○について、……を通じて検討を行う。*

*・○○の実用化にあたっては、……といった社会的課題が想定される。そのため、研究開発プロセスを通じて、……の対応を行う。*

*・本研究開発課題で取り扱うテーマは、社会の理解を得つつ進めることが必要であるため、……を通じて研究開発の進捗状況を社会に広く発信するように努める。*

*・本研究開発課題の進捗や成果について、次世代を担う中学・高校生にも伝わるよう、……を行う予定である。*

1. 研究への患者・市民参画（PPI：Patient and Public Involvement）の取組について

以下のa)～c)のいずれかの□にチェックを入れるとともに、a)又はb)については、その内容を簡潔に記載してください（bは検討中の内容で差し支えありません。）。

a)□　患者・市民との対話や知見を取り入れるための取組を行っている。

b)□　患者・市民との対話や知見を取り入れるための取組について検討している。

c)□　患者・市民との対話や知見を取り入れるための取組・検討を行っていない。

1. *（記載例）*

*・本研究開発課題の提案にあたっては、すでに●●の患者団体と意見交換を行い、本提案における……の点の改善につなげた。*

*・本研究開発課題にて行う○○の臨床試験のプロトコール作成にあたっては、……という点を明らかにすべく、○○患者との対話を行い患者や家族側の意見を取り入れる予定である。*

*・本研究開発課題の実施にあたっては、関係する患者・家族との対話により、●●●への期待や懸念、疑問点を抽出し、患者・家族の意見を取り入れながら研究開発プロセスを見直す方針である。*

*・本研究開発課題は、現時点で患者・家族等との対話を行える研究フェーズにないが、社会への情報発信に努める他、……について検討を行う予定である。*

　　　 ③　国内の子会社から国外の親会社に本研究開発課題の成果の承継を予定している場合は、その概要を記載してください。

*③ （例）*

*本研究で得られた結果について、社内規定により海外の親会社に移転予定。*

Form 2J

* *法令等の遵守、人権の保護、知的財産取扱への対応について、各項目の該当／非該当を選択し、該当の場合はその内容と対策について適宜、貴機関担当者に確認の上、記入してください。*

|  |  |
| --- | --- |
| **法令等の遵守、人権の保護、知的財産取扱への対応　（ 研究代表者　記入用チェックリスト ）** | |
| （１）安全保障貿易管理に対する取組を必要とする研究 | |
| **どちらか選んでください。**  **〔該当〕　〔非該当〕** | （非該当の場合は判断理由を、該当する場合その内容と対策を、簡潔に記入のこと。） |
| （２）生物遺伝資源等利用に伴う各種規制に対応する必要がある研究 | |
| **どちらか選んでください。**  **〔該当〕　〔非該当〕** | （非該当の場合は判断理由を、該当する場合、その内容と対策を簡潔に記入のこと。詳細は次項の詳細Aに記入する。） |
| （３）生命倫理及び安全対策に対する取組を必要とする研究 | |
| **どちらか選んでください。**  **〔該当〕　〔非該当〕** | （非該当の場合は判断理由を、該当する場合その内容と対策を簡潔に記入のこと。詳細は次項の詳細Aに記入する。） |
| （４）人権及び利益の保護の取扱いに対応する必要がある研究 | |
| **どちらか選んでください。**  **〔該当〕　〔非該当〕** | （非該当の場合は判断理由を、該当する場合その内容と対策を簡潔に記入のこと。） |
| （４－１）個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究 | |
| **どちらか選んでください。**  **〔該当〕　〔非該当〕** | （非該当の場合は判断理由を、該当する場合その内容と対策を簡潔に記入のこと。） |
| （５）社会的・倫理的配慮を必要とする研究 | |
| **どちらか選んでください。**  **〔該当〕　〔非該当〕** | （非該当の場合は判断理由を、該当する場合その内容と対策を簡潔に記入のこと。） |
| （６）知的財産等の取扱に対する配慮が必要な研究 | |
| **どちらか選んでください。**  **〔該当〕　〔非該当〕** | （非該当の場合は判断理由を、該当する場合その内容と対策を簡潔に記入のこと。詳細は次項の詳細Bに記入する。） |

|  |  |
| --- | --- |
| **〔詳細A〕**  **遺伝資源などの取扱いについての検討状況**  ※相手国の研究機関、研究者との協議、許可申請、手続き状況を含めてご記載ください。 | **＜研究用試料（遺伝資源を含む）の国内外への持ち込み、持ち出しの有無＞**  －－－－－  **＜上記で”有り”の場合、生物の多様性に関する条約の遺伝資源の取得の機会及びその利用から生じる利益の公正かつ衡平な配分（ABS）に関する名古屋議定書（略称「名古屋議定書」への対応状況＞**  －－－－－  **＜海外から国内に生物試料を取り寄せる場合、病原性を有する生物試料を取り寄せるなど植物防疫法等への対応状況＞**  －－－－－  **＜日本国内において、遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律（カルタヘナ法）への対応状況、第一種使用、第二種使用、所属機関の承認状況、大臣確認実験に該当もしくは非該当など＞**  －－－－－ |
| **〔詳細B〕**  **MTA、知的財産等の取扱いについての検討状況**  ※相手国の研究機関、研究者との協議、契約、手続き状況をご記載ください。 | **＜知的財産権、秘密保持契約、MTA （Material Transfer Agreement（物質移動合意書）などに関する取り扱い＞**  －－－－－ |

**研究開発代表者名**：

**研究開発課題名**：